

いけばた・さかどいせき

## 池端・坂戸遺跡

(伊勢原市No.170 遺跡)

調査期間  
20071101～20071215  
20080201～20080315  
20080801～20081031

所在地  
伊勢原市  
伊勢原

時代  
縄文  
奈良・平安  
中世  
近世



作成日:20100219

### 概要

本遺跡の発掘調査は神奈川県平塚土木事務所による緊急地方道路整備工事に伴うもので、平成 19・20 年度の2度にわたり実施しました。

池端・坂戸遺跡は伊勢原市役所の南側に広がる伊勢原台地上に立地する遺跡で、伊勢原市No.170 遺跡の範囲内では沼目(ぬまめ)・坂戸遺跡をはじめとして、池端・椿山(つばきやま)遺跡や池端・金山(かなやま)遺跡、池端・駒形(こまがた)遺跡等、過去に多くの発掘調査が行われてきました。

平成 19 年度の発掘調査では、現在の県道沿いにのびる近世の道を発見しました。この道は 1707(宝永4)年より以前に造られ、1707年に富士山が噴火した後も使われていたことが分かっています。調査区のすぐ南側には現在の県道が通っていて、近世に造られたこの道が県道の前身と考えられます。

平成 20 年度の調査地点は、19 年度の調査地点から北東へおよそ 50mのところにあります。この調査では中世の溝や奈良・平安時代のピットや土坑、縄文時代の竪穴住居址や埋甕(うめがめ)、土器集中、配石、ピット、土坑等数多くの遺構を確認しました。遺構の大部分は縄文時代のものが占め、これらは縄文時代中期から後期にかけて時期のものでした。



▲ Ⅷ区東 縄文土器出土状況



▲ 出土土器水洗い作業

出土品整理では発掘調査で得られた多くの情報を整理し、報告書刊行に向けて様々な作業を行います。現在は調査で記録した図面類の整理や個々の遺構についての検討、土器の注記や接合、石器の実測等の作業を進めています。本遺跡の平成20年度の調査地点周辺については、過去の調査により縄文時代中期から後期の集落が広がっていたことが判明しています。平成20年度の調査で見つかった縄文時代の遺構は、この集落を構成する一部だと考えられます。出土品整理ではこれらの周辺の調査成果を踏まえた上で、縄文時代の集落等の検討を進めています。



▲ 出土土器分類・接合作業